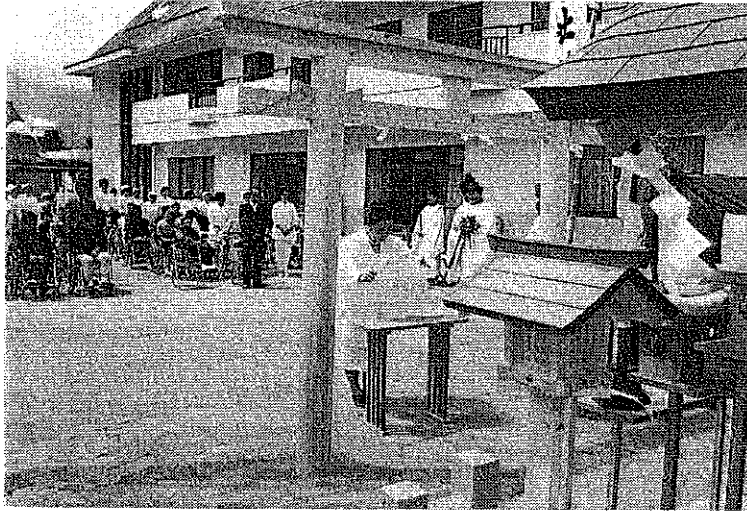


# 恵 屋

平成2年6月1日第4号  
温泉郡川内町則之内甲2819  
身体障害者療護施設  
三恵ホーム  
TEL(0899)66-3555

利用者状況  
総数 80名  
男 51名  
女 29名  
平均年齢50.8才



蛭子神社遷座奉祝祭 5月7日

## 遷宮の

## 笙しきゅうの音流る

### 五月闇

芥川雅秋

## えびす神社遷宮の儀式を目にして

園生 三好 学

本年四月以来工事を進めていた、私たち三恵ホームの園生及び職員の方々の守り神であるえびす神社のお社(やしる)が美しく立派に出来上りまして、五月六日の夕方、その新しいお社に御神体をお移しする遷座祭が、出雲大社広島教会の管長様をお迎えして厳かにとり行なわれました。

この日昼間の内から寮母さんに、神様がおわたりになる時は物音は一切立ててはならないし、明りもつけていけないのですよ」と言われていた私は儀式の三十分ほど前から電動車椅子のスイッチを切り、少し緊張してお待ちしました。やがて宵闇が迫り、人の姿がやっと見分けられるほどの暗さになった午後七時過ぎ、いよいよ正面玄閭を御神体がお出ましになりました。それは大きな提燈を先頭にした幻想的な行列でした。御神体をお守りしながら進んで行かれるおぼし姿の神官の方のお姿がシルエットになって見えました。しずしずと進んで行くその行列を見た時、私は一瞬時が止ったように感じました。きっとそれは幾千年もの時を超えた大和民族の神の姿が具現した瞬間であったのかも知れません。

翌七日は午前十時から、今度は私たち園生と職員の方たちだけの遷座奉祝祭が明るく柔かな光の中で厳かなうちにも和かにとり行なわれました。私は儀式の進行を促す和太鼓に非常によくマッチしたあの横笛の音の良さには驚きました。そして私と同室の二人が玉串を捧げました。私はその二人を誇らしく思いました。

遷宮という行事は二十年に一度あるかないかの珍しい行事です。その珍しい行事を目のあたりにし、また参加する事の出来た私たちはとても幸せだったと思います。えびす様、いえ本当のお名前は、ひるこのみこと様、でしたね、今後もどうか私たちを見守り、良き方向にお導き下さいませ。